

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※

—◆— 目 次 —◆—

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（6月30日～7月6日掲載分）
 - ☆各種情報
 - ☆分野別情報
 - ☆報道発表
 - ☆お知らせ
- 2 現場レポート
- 3 おすすめ情報
- 4 国土交通省からのお知らせ情報

◇◆◆

1 九州運輸局ホームページアップ情報（6月30日～7月6日掲載分）

◇◆◆

☆各種情報

《入札・契約情報》

- ・企画競争実施予定情報（平成23年7月1日付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_230701.pdf

- ・企画競争実施予定情報（平成23年7月5日付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_230705.pdf

- ・企画競争実施公示（平成23年7月1日付け、7/5付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・入札結果の公表（平成23年6月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1106_1.pdf

- ・契約結果に係る情報の公表（平成23年6月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/1106.pdf

- ・物品・役務入札公示（平成23年7月5日付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《九州統計情報》

- ・全国自動車保有車両数（平成23年3月末）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/zenkokusharyousuu23_03.pdf

☆分野別情報

《バリアフリー》

- ・交通バリアフリー通信第5号（平成23年7月1日発行）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file10/kbftuusin_005.pdf

《自動車》

- ・自動車整備事業者に対する行政処分等の基準

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_g/pdf/syobun_kijyun_1.pdf

☆報道発表

- ・タイのインセンティブツアーが九州を訪れます！

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0705_kokusai.pdf

- ・九州への中国人旅行者の回復を図るために中国遼寧省からメディア関係者を招請します！

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0706_kokusai.pdf

☆お知らせ

- ・九州運輸局人事異動一覧（平成23年7月1日付け）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0701_jinji.pdf

- ・港と倉庫の探検ツアーを開催します

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0701_buturyuu.pdf



2 現場レポート



▼▼来て・みて・学ぼう！海事産業▼▼

～次世代人材育成の海事教室開催～

熊本運輸支局では、6月15日（水）和水町立菊水東小学校の4～5年生の児童14名と先生2名を対象に海事教室を実施しました。

今回は熊本県を飛び出し九州最大の貿易港である博多港において開催することとし、まず最初に福岡市内の造船所で大型タンカーの進水式を見学しました。

およそ2万トンもある巨大ビルのような船に、子供たちも最初は驚いた様子でしたが、綱が切られタンカーが船台から海に向けて一気に動き出すと、大きな歓声があがりました。

また、当日は福岡のテレビ局（RKB・TNC）の取材もあり、インタビューに対して「船の長さが長かった。」「一度船長をやってみたい。」など子供たちの元気に答える様子がニュースとして放映されました。進水式後、児童から質問をうけたところ、「船を作る時、何人で作るのか。」「大きな船を何に使うのか。」「船を作るのにどのくらい時間がかかるのか。」等、活発な質問攻めで造船所の方しか答えられない内容もあ

りました。

つぎに、ベイサイドプレイス博多へ移動して、九州運輸局の海技試験官を講師に迎え「いろんな船の紹介」等、船に関するさまざまな話をさせていただきました。

その後、昼食をとり、海の景色を楽しみながら、しばらく休息です。午後からは、福岡市港湾局の港務艇「なのつ」に乗船し、ボランティアガイドさんの案内で、博多湾クルーズです。子供たちは海から博多港の施設をながめ、ガイドさんの説明を一生懸命ノートに記録していました。

途中、船酔いぎみの子供も何人かおり、クルーズに同行された毎日新聞社の記事には「船酔いする児童が続出」と書かれてましたが、無事ベイサイドプレイスまで帰ることができました。

最後に、香椎パークポートのコンテナターミナルへ移動し、ビルの屋上から、コンテナ貨物をトレーラーに積み卸しをする様子を眺めながら、ガイドさんの説明を受け今回の海事教室は終了しました。

朝8時30分の出発から午後3時すぎまで、進水式、海事講話、船の乗船等、ハードなスケジュールにもかかわらず、子供たちは元気で、帰り際には、うれしそうに私たちに手を振ってくれました。

今回の海事教室は、福岡の関係者方のご協力とご厚意により実施することができました。今回の体験で、普段、海の仕事に接する機会の少ない子供たちにも少しは海に興味を持ってもらえたのではないかと思います。

※海事教室の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_130_2.pdf

(熊本運輸支局)

▼▼「出前講座」 in 長崎県立長崎鶴洋高等学校▼▼

九州運輸局では、6月13日、長崎県立長崎鶴洋高等学校において、同校生徒を対象に「出前講座」を実施しました。

この講座は、海事関係業務の広報活動の一環として、毎年、各地の小・中・高の

学校、海上技術学校及び水産高等学校に出向いて実施しているものです。

今回は、同校から「船の話」に関する講座依頼があったもので、担当職員が講師となって説明を行いました。

講座の内容は、「我が国の海運と船員について」と題して、①我が国海運のこれまでの経緯及び現況、これからの見通し等の説明、②日本人船員の問題として、海事技術者育成と確保等の説明でした。

生徒の皆さんは、説明内容に関心を示し、集中して聴講していました。また、講座終了後のアンケート調査では、「とてもわかりやすく、大変有意義な学習になった。」などの感想もあり、この講座の目的を達成することができたと思います。

今後も、「出前講座」を積極的に実施し、少しでも生徒の皆さんの手助けとなるよう、また、九州運輸局を大いにアピールしていきたいと思っています。

※出前講座の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_130_7.pdf

(海上安全環境部 調整官)

▼▼博多湾で“海（UMI）”体験&学習しませんか！▼▼

(小学生&保護者を対象に「UMI アカデミー」開催)

梅雨本番ながら夏本番の話題をお届けしたいと思います。

6月25日（土）午後、閉庁日で静かな九州運輸局玄関前に突如、賑やかなのぼりがはためく仮設テントが出現。「UMI アカデミー」案内、受付用の仮設テントです。前日までの雨予報とは一転し、薄日が差すなか、顔中に大粒の汗、キラキラと目を輝かせる小学生と保護者が仮設テントに集合、受付後、庁舎内会場へ移動し、約6ヶ月におよぶ「UMI アカデミー」がスタートしました。

“海”が「誰でも、気軽に、安心して、楽しめる」フィールドであることを、マリンスポーツ体験や海洋学習を通して広く子供たちに感じてもらうために『(U)海に (M) みんなで (I) いこう！アカデミー』を九州運輸局と地元官民関係者からなる福岡県マリンスポーツ実行委員会が開催。

今回の「UMI アカデミー」は、(財)笹川スポーツ財団の協力により、地域の施設を活用しマリンスポーツ及び海洋学習を通して、地域の教育機関等に対して海洋教育への理解を深めていただく新たなプログラムを作成していくことを目的として全国に先駆けて取り組んでいます。

開講式には、小学生31名、保護者20名が参加、オリエンテーションに続き子供たちが、今、海に対してどのような意識を持っているのか東京海洋大学によるアンケート調査を実施、アカデミーに参加した子供たちの海への意識変化を確認していくこととしています。

その後、早速、各マリンスポーツの具体的なルールや道具の使い方などについてインストラクターから説明を受け、子供たちは早くも“やる気モード全開”。一

緒に参加する保護者も興味津々、今夏の家族の話題を独占する雰囲気です。

アカデミーの講座では、大きく体験と学習に分かれ、体験編では、クルージング、カヤック、ライフセービング、ビーチサッカー、ビーチバレー等を予定、学習編では、海と気象、風とヨット、星と航海術、海と食材等、専門のインストラクターによる本物の興味深い内容が準備されています。

7～8月 小学生低学年・高学年に分かれ、夏休みの課題の題材となる海体験&学習を実施、その後全体学習を経て、11月3日の修了式の際には、逞しいマリンキッズとなった子供たちに認定証を渡すこととしています。

※『UMIアカデミー』開校式の模様は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_130_8.pdf

(海事振興部 船舶産業課)



3 おすすめ情報



▼▼大切なことは海が教えてくれました。▼▼

～平成23年「海の月間」行事～

今年7月18日が「海の日」です。

「海の日」は、海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日として平成8年から国民の祝日となりました。

当初、「海の日」は、7月20日とされていましたが、平成15年からは7月の第3月曜日となっています。

毎年、「海の日」を含む7月1日から7月31日が「海の月間」とされ、この期間を中心に全国各地で国民の皆様へ「海」についての理解と関心を一層深めていただくための各種行事が催されています。

九州運輸局では、今年も関係省庁や各自治体、海事関係団体と連携して各種親水行事を計画しています。

【月間中の行事概要】

- ・ 「海の日」記念式典、海事功労者表彰
- ・ 殉職船員の慰霊祭、法要等の神事・仏事
- ・ 傷病船員等の慰問活動
- ・ 岸壁等の清掃活動、募金活動
- ・ 海上自衛隊護衛艦・海上保安部巡視船の体験航海、ミニクルージング、ヨット教室等の各種体験イベント
- ・ 倉庫等海事関係施設の見学会、護衛艦・巡視船の一般公開等
- ・ 海に関する絵画コンクール、写真展覧会等
- ・ ヨットレース、ミニトライアスロン等各種スポーツ大会

※月間中の各種行事の詳細は、次のURLからご覧になれます。

